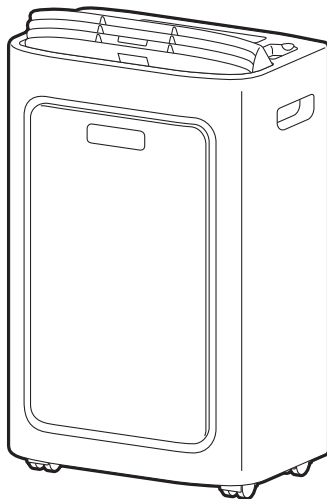


トヨタミスポット冷暖エアコン

型式 ディー エイ ディー ケイ ダブルユー
4284 **TAD-22KW**

(AC100V仕様)



この製品には、
オゾン層を破壊しない
新冷媒 HFC(R-410A)を
使用しています。

取扱説明書 (保証書付き)

裏表紙に付いています。

このたびは本機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しいご使用方法でご愛用くださいますようお願い申し上げます。
- この「取扱説明書」は、大切に保管しておいてください。
- まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。

この製品は、人を対象としたスポット冷暖エアコンです。それ以外の目的・用途には使用しないでください。

この製品は屋外で使用することはできません。屋内あるいは準屋内(屋根があり、直射日光や雨が当たらない場所)で使用してください。

製品が故障・変形・変色するおそれがあります。

長年ご使用のスポット冷暖エアコンの点検をぜひ!

愛情点検



この
ような
ことは
あり
ませ
んか

- コゲくさいにおいがする。電源プラグ、電源コードが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 水漏れがする。
- 漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

製品アンケートに
ご協力ください

<http://www.toyotomi.jp/aiyou/>
製品アンケートをお答えください。
通信料などはお客様のご負担になります。



目次

安全上のご注意	1～5
各部のなまえとはたらき	6～7
運転前の準備と確認	8～11
窓パネルセットの取付け方法	12～14
運転のしかた	15
自動運転	15
冷風運転	16
ドライ運転	17
送風運転	18
温風運転	19
切タイマー運転	20
入タイマー運転	21
日常のお手入れ	22
知っておいていただきたいこと	23
サービスを依頼する前に	24～25
定期点検	26
保管のしかた	26
仕様	27
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	27
保証とアフターサービス	28
お客様相談窓口	29
保証書	裏表紙

安全上のご注意 (よく読んで必ずお守りください)

- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険(DANGER)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。
--	-----------------------	--	--------------------------

- 説明文中の「お願い」「お知らせ」事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

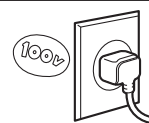
⚠ 危険 (DANGER)

- 異常時(こげくさい等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、火災や感電や故障の原因になります。
また、長年使用された場合、経年劣化により部品に不具合がおこることがあります。
その状態で使用を続けると、事故になるおそれがあります。
電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または、当社の **お客様相談窓口** に、ご相談いただき、定期的に点検を依頼してください。

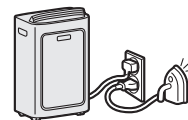


⚠ 警告 (WARNING)

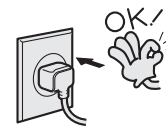
- 日本国内専用です。電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災や感電の原因になります。



- 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用する。
交流100V15A以上のコンセントか確認する。他の電気機器の電源プラグは同じコンセントに差し込みしない。また延長コードの使用や他の電気機器とのタコ足配線をしない。
屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。



- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的(1箇月に1~2回)に掃除をしてください。



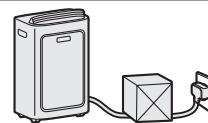
- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。
使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。
傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。



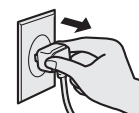
- 電源プラグやスイッチを濡れた手で抜き差ししたり触れない。
感電の原因になります。



- 電源コードを重いものや製品の下に踏んで使用しない。
電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。



- 電源プラグを抜いて本機の運転を停止しない。
火災や感電の原因になります。

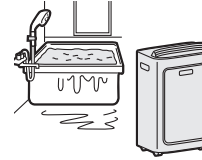


警告(WARNING)

- 包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に保管する。
誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。



- 直接水をかけたり、水につけたり、浴室などの水のかかり易い場所で使用しない。また本機の上に花瓶など水の入った容器をのせない。
水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、火災や感電や漏電の原因になることがあります。
水などがかかったら、使用を中止してお買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。



- 本機の上に乗らない。また物を載せない。
転倒や落下により、けがの原因になります。



- 可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない。また可燃性ガスが発生する場所やたまる場所では使用しない。
万が一ガスが漏れて本機の周囲に留まると、火災や故障や変色の原因になります。



- 本機に衣類や洗たく物等を、載せたり、近くに置かない。
可動部にかからまり、故障の原因になります。



- 吹出口や給気口・排気口にピンや針などの金属物等、また指を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になるおそれがあります。



- 燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない。
故障や変形のおそれがあります。



- 長時間、風を直接からだに当てたり、冷やし過ぎたり、暖め過ぎたりしない。
体調悪化・健康障害の原因になります。
特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。



- 電気工事が必要な場合は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。
配線等に不備がある場合、火災や漏電や感電の原因になります。



- 確実にアースをおこなう。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
アース工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。



- 漏電しゃ断器を取り付ける。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、火災や感電の原因になります。
お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。



- 窓パネルセットの取り付け場所は重量に耐える所に、確実におこなう。
取り付けが不完全な場合、窓パネルセットの落下によるケガの原因になります。



- 取り付けは、必ず付属の窓パネルセットや指定の部品を使って正しく取り付ける。
取り付け方法に不備があると窓パネルセットの落下によるケガの原因になります。

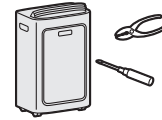


- 窓パネルセットの移動や再設置をする場合には、確実におこなう。
取り付けが不完全の場合、窓パネルセットの落下によるケガの原因になります。



警告(WARNING)

●改造は絶対にしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
火災や感電やけがの原因になりますので、お買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。

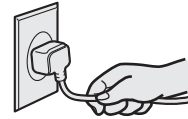


●修理は、お買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。
ご自分で修理をされたときに不備があると、火災や感電の原因になります。



注意(CAUTION)

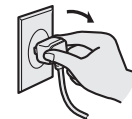
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。



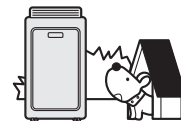
●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電やショートや発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合はお買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」に修理依頼してください。



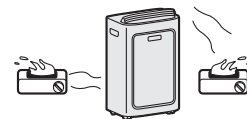
●使用時以外またはお手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



●屋外で使用しない。
屋内専用です。
故障や感電の原因になります。



●次の場所では使わない。
燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災・感電の原因になります。
・ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる所。
・雨や水しぶきのかかる所。
・油、ほこり、金属粉の多い所。



●障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所では使用しない。
事故や転倒や故障や水漏れの原因になります。



●押し入れや家具のすき間など、狭い場所では使用しない。
発熱や発火や故障の原因になります。



●無理やり可動部に力を加えない。
動かなくなったらそれ以上は可動させないでください。
無理に動かすと、故障やルーバー可動部の破損のおそれがあります。



●エアフィルターカバーをはずした状態で使用しない。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。

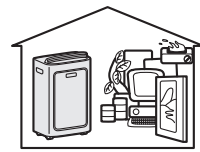


●部屋を閉め切ったりダクトを取り付けて使用する場合、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。



⚠ 注意 (CAUTION)

●本機は一般家庭でのご使用を対象にしていますので、食品・動物（飼育室等）・植物（温室等）・精密機器・コンピュータールーム・医療品等の維持、管理や保存など特殊用途では使用しない。またペット用の空調機器として使用しない。
本機自体やこれらの物の品質低下や劣化、故障の原因になります。予測できない事故が発生するおそれがあります。



●本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててからおこなう。また引きずって移動しない。
畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんでは持ち上げて移動してください。
けがや床を傷つけたり、床を汚す原因になります。



●吹出口や排気口の風をさえぎったり、給気口を塞いだりしない。
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。
また、ドレン水を正常に処理できなくなり、水漏れの原因になります。



●異常な振動や異音が出た場合は、使用を中止する。
部品の落下等によるけがの原因になります。



●次のような使用は避ける。
発火や故障の原因や、結露水が滴下したり風雨によって家財を濡らす原因になります。

- ・火花が飛び散るような場所。
- ・加工油や防錆油や有機溶剤を使用している場所。
- ・窓や戸を開いたままでの運転（部屋の湿度が80%を越えた状態が続く場合）。
- ・風雨の強いときの運転（ダクトパネル使用時）。

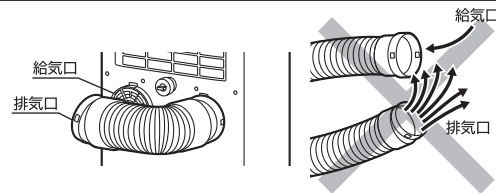


●騒音に注意する。
設置場所や本機自体の振動等により騒音が発生する場合があります。近隣に迷惑になります。

- ・排気口からの温風や冷風の騒音。
- ・排気口からの温風や冷風が近傍の物に当たった時の騒音。
- ・不安定な場所に設置した時の振動による騒音。



●排気ダクトの排気口を給気口に向けない。またダクトを使用する場合に、給気ダクトの給気口と排気ダクトの排気口を向き合わせない。
排気された温風（または冷風）が給気口から吸い込まれると、能力が低下したり、故障の原因になります。



●ダクトを延長しない。
同梱しているダクトを延長して使用することはできません。
能力低下や安全装置が作動し運転が継続できなくなる場合があります。



●ゴム栓およびゴム栓カバーは、冷風運転、ドライ運転の連続排水時以外は、取り外さない。
水漏れの原因になります。



●連続排水する場合は、ホースの折れ曲がりや落差などに注意する。
またドレン水を受けている容器の水量をこまめに確認し、ホースの先はドレン水に漬からないようにする。
ドレン水が室内にこぼれて、家財などを濡らす原因になります。



●本体内部の熱交換器に手をふれない。
掃除をする場合、必ず手袋をはめて手や指を切らないように注意しておこなってください。
けがをする原因になります。



●給気ダクトの給気口と排気ダクトの排気口は下り勾配に設置しない。
安全装置が作動しやすくなり、運転が継続できなくなる場合があります。



⚠ 注意 (CAUTION)

●市販のエアコン洗浄スプレーは使用しない。
感電や故障、製品内部の破損、排水経路の詰まりによる水漏れの原因になります。



禁止

●リモコンに使用する電池は、指定以外の電池を使用しない。
●電池の⊕と⊖を間違えて挿入しない。
●電池は充電・加熱・分解・ショートなどさせない。火の中に入れてはいけない。
●電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかない。



禁止

●種類の違う電池は使用しない。
液漏れ、破裂したり、やけどやけがの原因になります。
液漏れした液にふれたときは、水でよく洗い流して、医師に相談してください。
本機に付着した場合は、直接液にふれないようにふき取ってください。

●電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。

電池はお子様が悪く飲んで飲み込むと危険です。
万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。

●シーズン終了後、電池は必ず抜いて保管してください。

●お手入れは、手袋をはめておこなう。

けがの原因になります。



指示

●保管するときは、器具の操作方法を知らない人(特にお子様)などが触れない所に保管する。
けがや事故の原因になります。

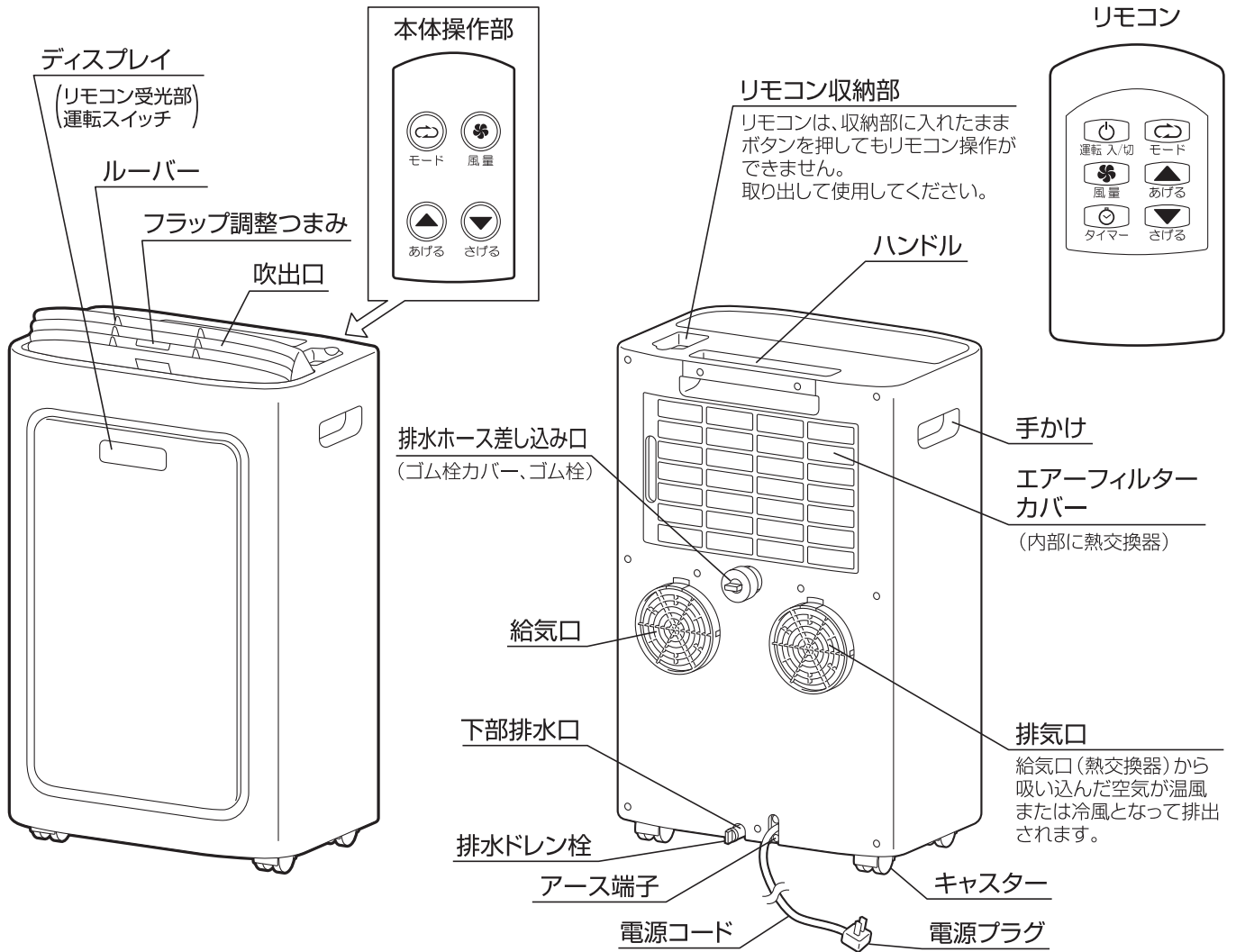


指示

お願い

- リモコンはていねいに扱ってください。落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
- リモコンの受信距離は正面で7m以下です。室内に電子点灯形(インバータ形)の照明器具がある場合は、受信距離が短くなる場合があります。
- リモコンの送信部をディスプレイの受信部に向けて操作してください。ディスプレイの受信部以外へ向けると動作しないことがあります。
- リモコンの送信部とディスプレイの受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
- リモコンに入れる乾電池(単4電池2本)は、マンガン乾電池でもご使用できますが、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
- リモコン操作をしても作動しない場合、またはディスプレイ表示が出ていても作動しない場合は新しい乾電池に2本とも交換してください。このとき動作が正常でない場合は、乾電池を抜き取り5秒以上経過してから、再度セットし直してください。
- 乾電池の寿命は通常の使い方です。ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなります。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 長期間(1カ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 初めてご使用になるときは、本機内部などから、塗料などのにおいが発生することがありますが、ご使用にともない、においが出なくなります。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で運転を「切」にしても、マイコンなどの消費電力が約1Wあるために操作部が少し暖かくなりますが異常ではありません。
- 故障の原因になりますので、むやみにボタン操作を繰り返さないでください。
- 本機は発電機の電源には対応していませんので、必ず商用電源を使用してください。
- 落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷の程度によっては、故障の原因になります。
- テレビやラジオなどAV機器や電波時計から2m以上離して使用してください。映像の乱れや雑音が入るおそれがあります。

各部のなまえとはたらき



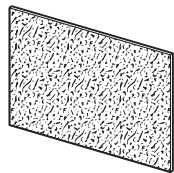
⚠ 注意

● ゴム栓およびゴム栓カバーは、冷風運転、ドライ運転の連続排水時以外は、取り外さない。
水漏れの原因になります。

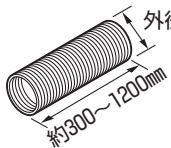


附属品

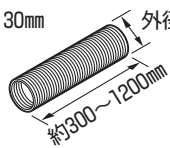
本体取付部品



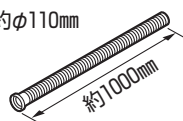
活性炭フィルター(1枚)
室内の空気を吸い込み、ニオイを吸着します。
(交換の目安は3カ月です)



排気ダクト(1本)
(給気ダクトより太さが一回り太いです)



給気ダクト(1本)



排水ホース(1本)
(水もれ防止用のホースパッキン付き)

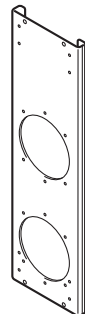


ダクトエンド(2個)



ダクトエンドK(2個)

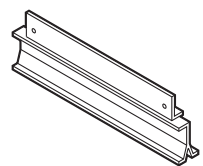
窓パネルセット 12・13・14ページ



窓パネルA(1本)



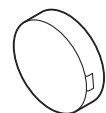
窓パネルB(1本)



上下レール(2個)



給排口(2個)



キャップ(2個)

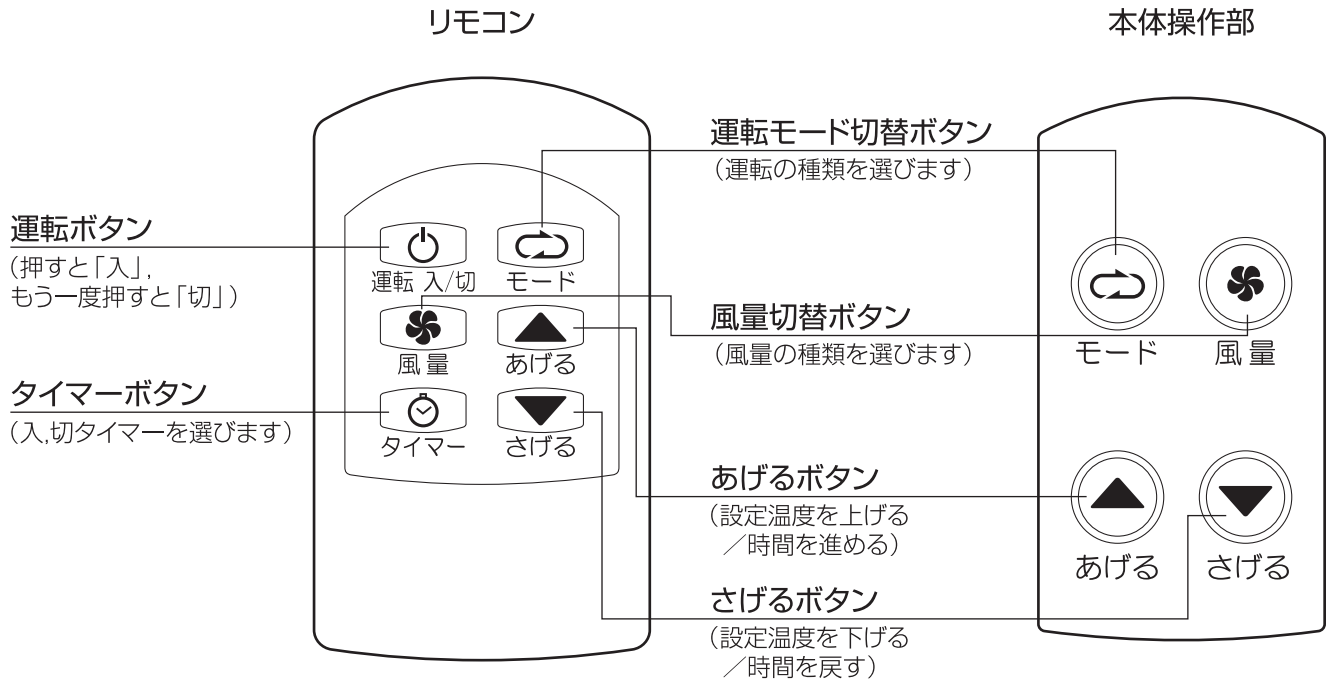


固定ねじ(長)(12本)

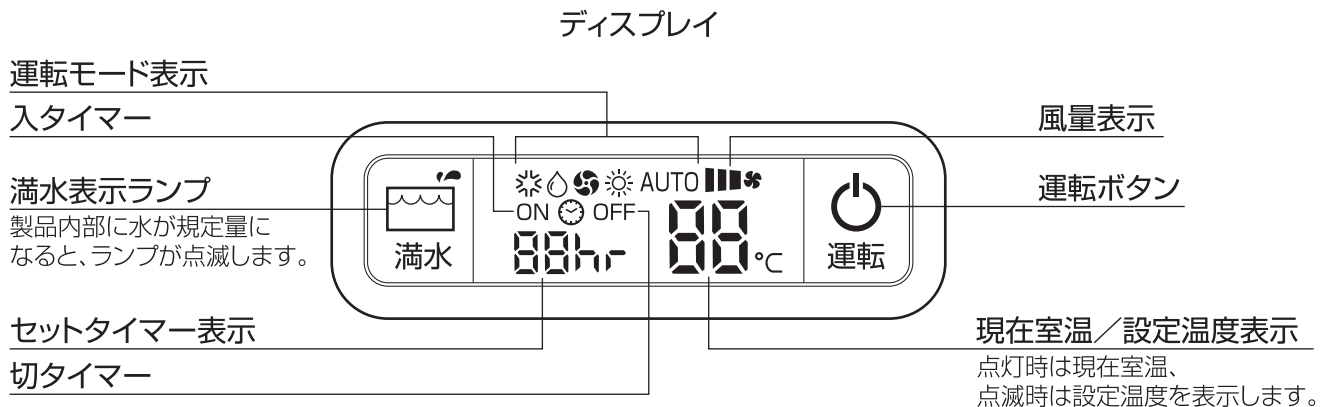


固定ねじ(短)(2本)

操作部のなまえとはたらき



ディスプレイの表示



運転モード表示

AUTO	自動運転	💧	ドライ運転	☀️	温風運転
❄️	冷風運転	🌀	送風運転		

風量表示

AUTO	🌀	自動風	現在の室温と設定温度の温度差により「強」・「弱」・「微」風の中から自動的に設定されます。
🌀	強 風	強 風	強風量で運転します。
🌀	弱 風	弱 風	静かな運転をします。
🌀	微 風	微 風	風量をおさえ、より静かな運転をします。

運転前の準備と確認

警告

- 日本国内専用です。電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災や感電の原因になります。
- 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用する。
交流100V15A以上のコンセントか確認する。他の電気機器の電源プラグは同じコンセントに差し込みしない。また延長コードの使用や他の電気機器とのタコ足配線をしない。
屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的(1箇月に1~2回)に掃除をしてください。
- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。
傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。
- 確実にアースをおこなう。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
アース工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。
- 漏電しゃ断器を取り付ける。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、火災や感電の原因になります。
お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。



禁止



禁止



確認



禁止



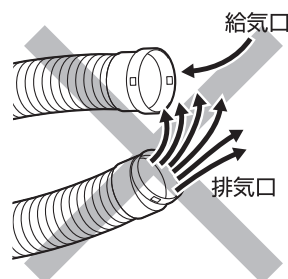
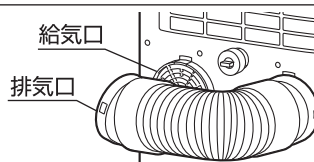
アース



確認

注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。
- 本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててからおこなう。また引きずって移動しない。
畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんでは持ち上げて移動してください。
けがや床を傷つける原因になります。
- 排気ダクトの排気口を給気口に向けない。またダクトを使用する場合には、給気ダクト給気口と排気ダクトの排気口を向き合わせない。
排気された温風(または冷風)が給気口から吸い込まれると、能力が低下したり、故障の原因になります。



禁止



禁止



禁止

お願い

- 製品は重量がありますので、けがをしないよう必ず2人以上でおこなってください。

1 製品を取り出します。

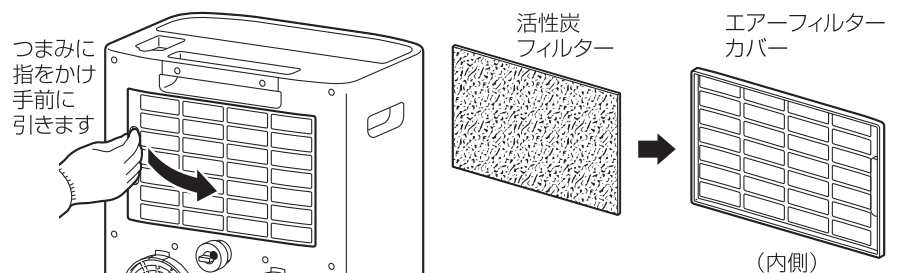
- 包装箱からすべての包装材を取り除き、製品に傷をつけないように取り出してください。同時に付属品や取扱説明書も取り出してください。
- 包装箱や包装材は保管するときにご利用ください。

2 水平の確認をする。

- 製品は振動のない、水平でしっかりした床面に設置してください。製品が、傾いていないか、不安定な状態になっていないか、必ず確かめてください。製品を傾いた状態で使用しますと、ドレン水があふれ出たり、振動音が出たり転倒しやすくなります。

3 活性炭フィルターを取り付ける。

- エアフィルターカバーを取りはずして、その内側に活性炭フィルターを取り付けてください。



お願い

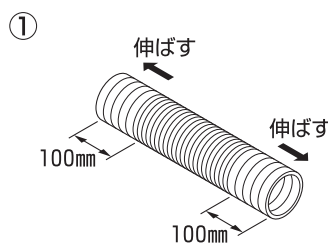
- 活性炭フィルターの繊維がはがれて、黒い粉がこぼれることがあります。繊維がはがれる原因になりますので、活性炭フィルターを折り曲げたり、押しつぶしたりしないでください。

4 排気ダクトを取り付ける。

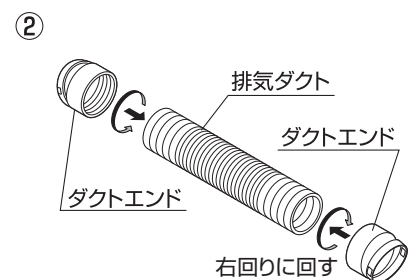
- 排気ダクトは排気口に取り付けてご使用ください。取り付けずにご使用されますと排気の一部が給気に戻り能力が低下することがあります。

- 排気ダクト内には金属ワイヤーの芯があります。取り扱い時、けがをしないようご注意ください。

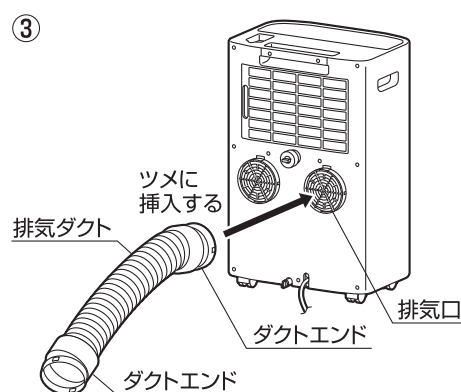
- ①排気ダクトの両端を100mm程度伸ばしてください。



- ②ダクトエンドを排気ダクトに挿入し、止まるところまで右回りに回して固定してください。



- ③製品の排気口のツメに、組み合わせた排気ダクトとダクトエンドを挿入し固定してください。

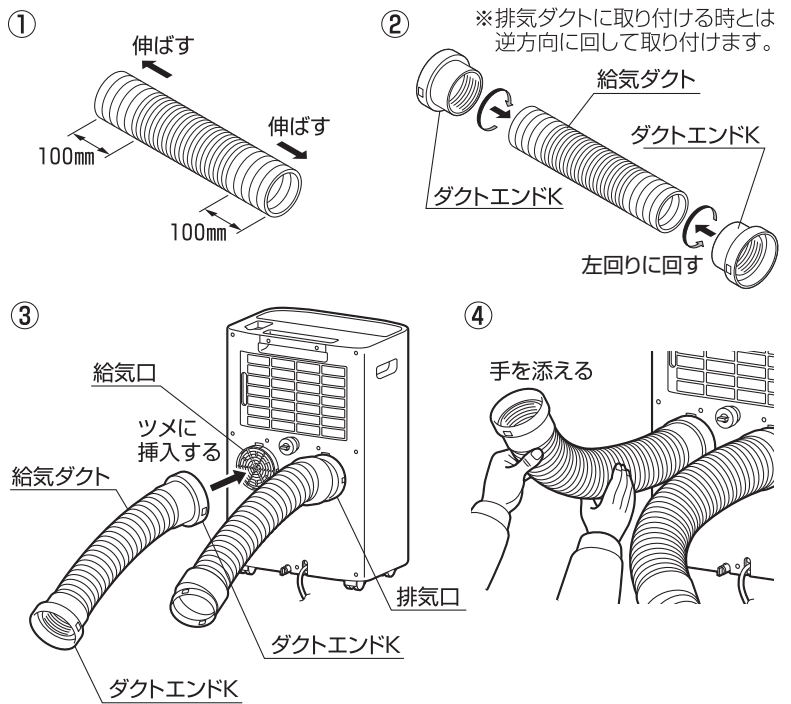


- ④排気ダクトを適当な長さに伸ばします。排気ダクトを調整するときは、排気ダクトの根元に力がかからないように、必ず手を添えておこなってください。

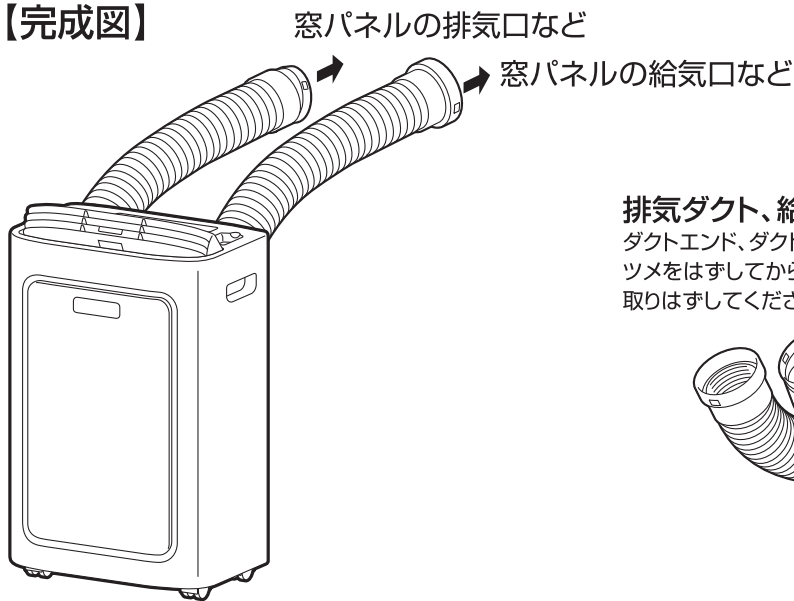


5 給気ダクトを取り付ける。

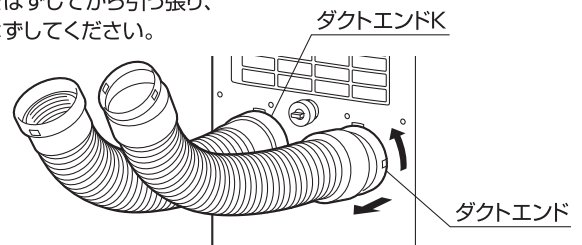
- 給気ダクトは給気口に取り付けて①で使用ください。
 - 給気ダクト内には金属ワイヤーの芯があります。取り扱い時、けがをしないようご注意ください。
- ①給気ダクトの両端を100mm程度伸ばしてください。
 - ②ダクトエンドKを給気ダクトに挿入し、止まるところまで左回りに回して固定してください。
 - ③製品の給気口のツメに、組み合わせた給気ダクトとダクトエンドKを挿入し固定してください。
 - ④給気ダクトを適当な長さに伸ばします。給気ダクトを調整するときは、給気ダクトの根元に力がかからないように、必ず手を添えておこなってください。



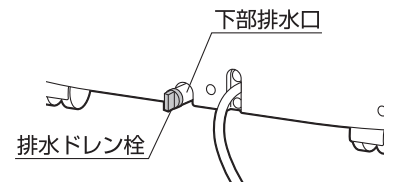
【完成図】



排気ダクト、給気ダクトのはずしかた
ダクトエンド、ダクトエンドKを回して
ツメをはずしてから引っ張り、
取りはずしてください。

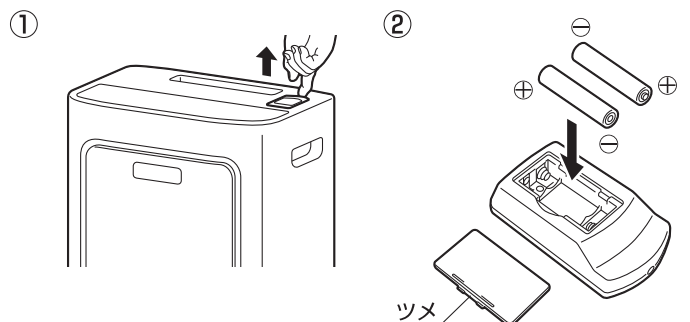


6 排水ドレン栓が確実に下部排水口に差し込まれていることを確認する。



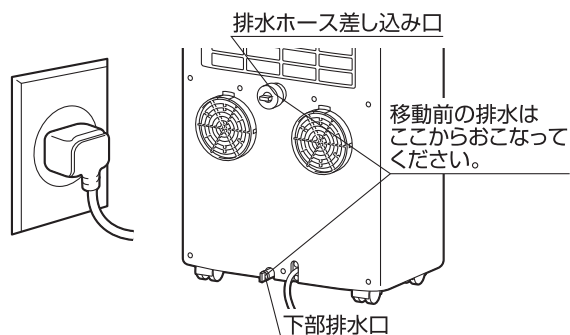
7 リモコンの準備をする。

- ①リモコンの上側のくぼみに指を入れ、手前にリモコンを取り出します。
 - ②リモコンの裏ぶたのツメを引いて取りはずし、⊕⊖を間違えないように、乾電池を入れてください。
- ※乾電池は別売です。単4乾電池2本が必要です。



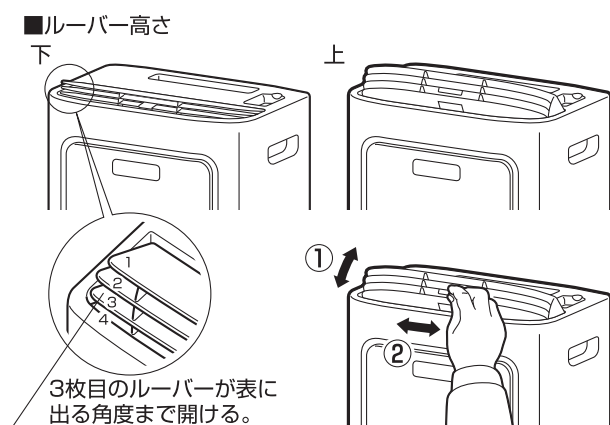
8 電源プラグを家庭用交流100V15A以上のコンセントに確実に差し込む。

- 移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、排水ホース差し込み口と下部排水口からドレン水を捨ててからおこなってください。抜いたゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は元通りに取り付けてください。
- コンセントの差し込みがゆるいときは、交換してください。
電源プラグの発熱・発火の原因になります。



9 ルーバーを開ける。

- 製品の上面部にあるルーバーを開ける。
- ルーバーを閉じて使用すると、製品の表面や内部が結露し、床を汚すことがあります。
ルーバーは、上から3枚目のルーバーが表に出る角度以上開けてご使用ください。
- ①ルーバーの高さ調節は、お好みの高さでルーバーを持ち上げ調節することができます。
- ②左右の風向調節はルーバー内のフラップ調整つまみを左右に動かし、調節することができます。



排水ホースの取り付け

注意

- ゴム栓およびゴム栓カバーは、冷風運転、ドライ運転の連続排水時以外は、取り外さない。
水漏れの原因になります。



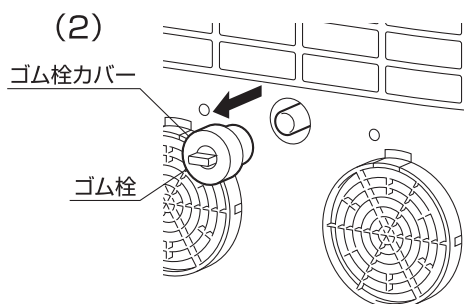
お願い

- 冷風運転時、ドライ運転時に連続排水で使用される時、排水ホースの取り付けをしてください。
- 排水の容器の水量やホースの外れ等を確認してください

(1) 付属品の排水ホースを準備します。

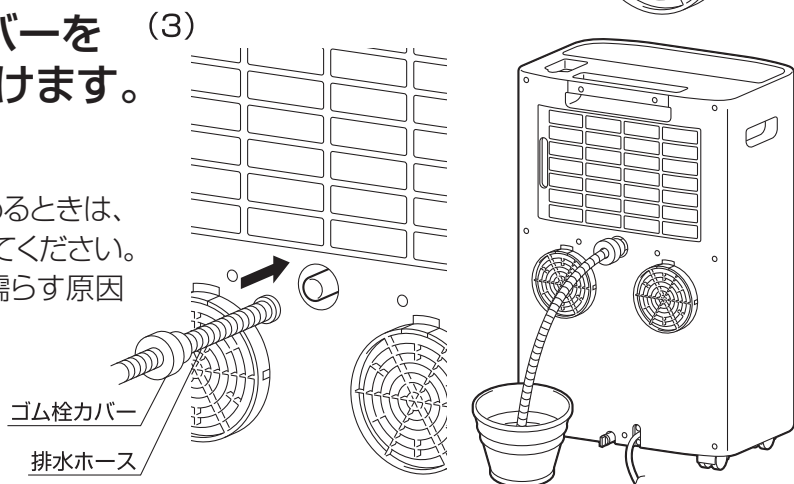
(2) 背面にあるゴム栓カバーを取りはずし、ゴム栓をはずします。

- 運転した後にゴム栓をはずすと中に残っている水がこぼれるおそれがあります。










(3) 排水ホースに、ゴム栓カバーをはめて製品に再び取り付けます。

- はずしたゴム栓は使用しません。
大切に保管してください。
- 容器に連続排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認してください。
ドレン水が容器からあふれて床を濡らす原因になります。



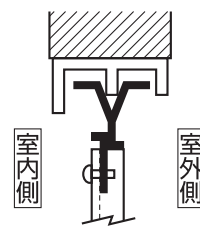
窓パネルセットの取付け方法

 警告	<ul style="list-style-type: none">●窓パネルセットの取り付ける場所は重量に耐える所に、確実におこなう。取り付けが不完全な場合、窓パネルセットの落下によるケガの原因になります。	 指示
	<ul style="list-style-type: none">●取り付けは、必ず付属の窓パネルセットや指定の部品を使って正しく取り付ける。取り付け方法に不備があると窓パネルセットの落下によるケガの原因になります。	 指示
	<ul style="list-style-type: none">●窓パネルセットの移動や再設置をする場合には、確実におこなう。取り付けが不完全の場合、窓パネルセットの落下によるケガの原因になります。	 指示
 注意	<ul style="list-style-type: none">●雨どいの真下はさけ、吹き下しなどにより窓から雨水が侵入しない場所に取り付ける。室内を汚すことがあります。	 指示
	<ul style="list-style-type: none">●騒音に注意する。設置場所や本機自体の振動等により騒音が発生する場合があります。近隣に迷惑になります。<ul style="list-style-type: none">・排気口からの温風や冷風の騒音。・排気口からの温風や冷風が近傍の物に当たった時の騒音。・不安定な場所に設置した時の振動による騒音。	 確認
	<ul style="list-style-type: none">●本体背面にある排水ドレン栓は、排水作業時以外はすさない。水漏れします。	 禁止
	<ul style="list-style-type: none">●雨や風が強い時は、使用を中止し、窓パネルセットを取りはずす。	 指示
お願い	<ul style="list-style-type: none">●窓サッシ固定用のカギを使用する場合は、市販のカギを購入する。外出するときは、窓を閉め、窓自体のカギをかける。●この窓パネルは、鉄製の窓や、特殊な窓には取り付けできないことがあります。●作業時は手ぶくろ等の保護具を着用してください。	

※この窓パネルは、排気ダクトと給気ダクトを組み合わせるものです。

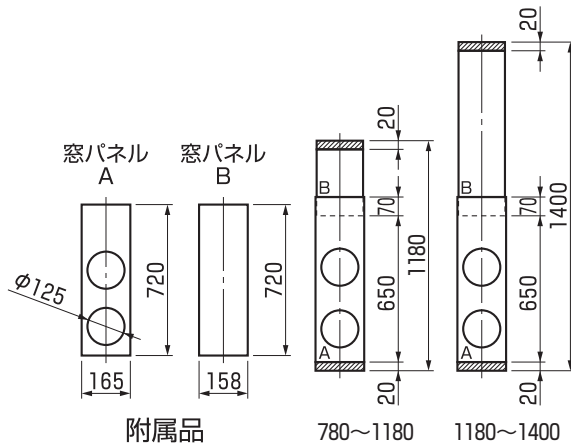
1 取り付け前の注意

- ①取り付ける前に、次の工具を用意してください。
 プラスドライバー、ナイフ、ノコギリ、やすり
- ②右図のように窓のレールをはさんでご使用ください。

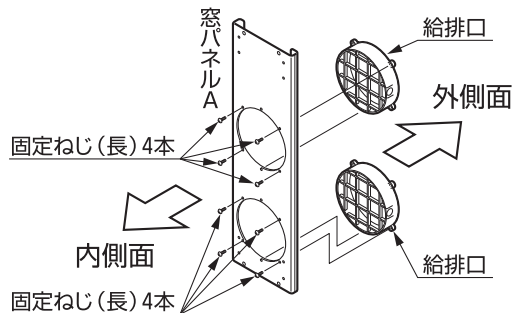


2 窓パネルの組み立てと取り付け

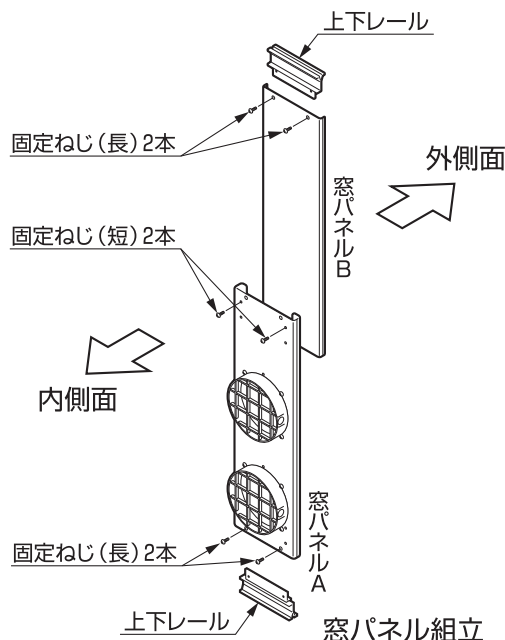
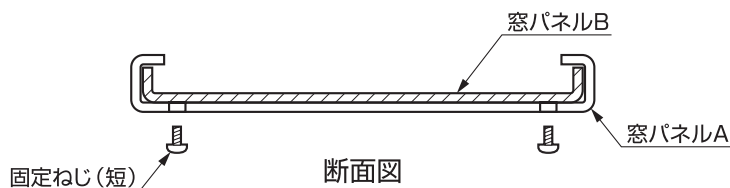
- ①窓パネルを取付ける前に窓の高さを測定してください。
 - 780mm～1180mmまでは、取付け長さに合わせ、パネルBをノコギリ等で切断して調節します。
 - この時必ず2枚の窓パネルが70mm以上重なるようにしてください。
 - ※ノコギリ等で切断した切り口はナイフや、やすり等で仕上げてください。



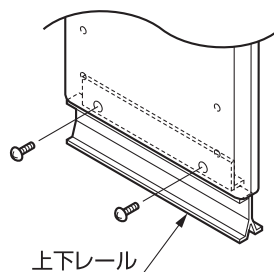
- ②2個の給排口を窓パネルAに開いた大穴に外側面からツメが左右に向くようにセットして、固定ねじ(長)4本(計8本)で固定してください。



- ③窓パネルBを、窓パネルAに挿入してください。次に窓パネルA上側の穴に固定ねじ(短)の左右1本ずつ(計2本)で窓パネルBを仮止めしてください。

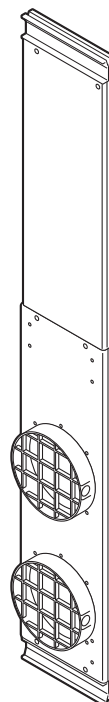
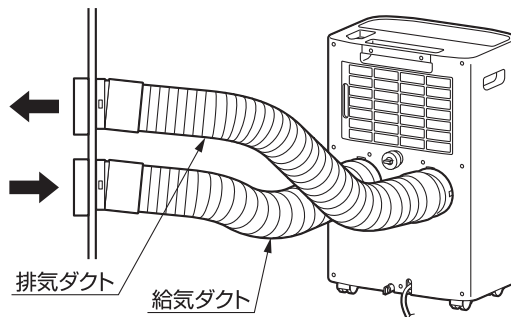


- ④上下レールを、組み立てた窓パネルの上端および下端に、固定ねじ(長)2本(計4本)で固定してください。

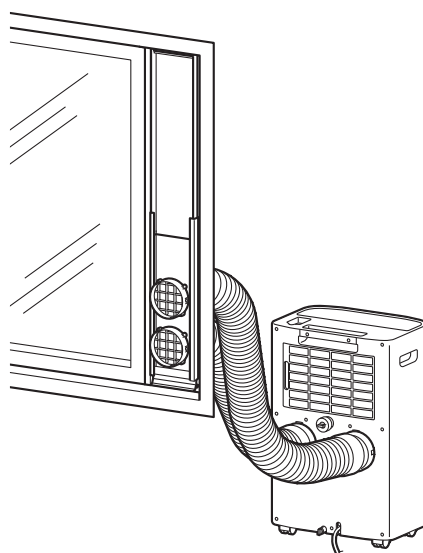
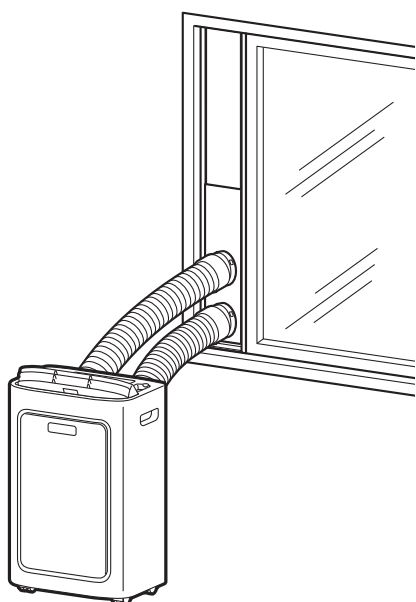


- ⑤窓パネル組立を、窓わくの上下のレールまたは溝に取り付けてください。
必ず窓の戸と同じレールまたは溝に取り付けてください。
- ③で仮止めした固定ねじ(短)の各1本ずつ(計2本)を、窓パネル組立がはずれないように固定してください。
- はずれ防止のため、必ず2枚の窓パネルが、70mm以上重なるようにしてください。

- ⑥製品本体の排気ダクトを上側、給気ダクトを下側にして窓パネルに差し込んでください。

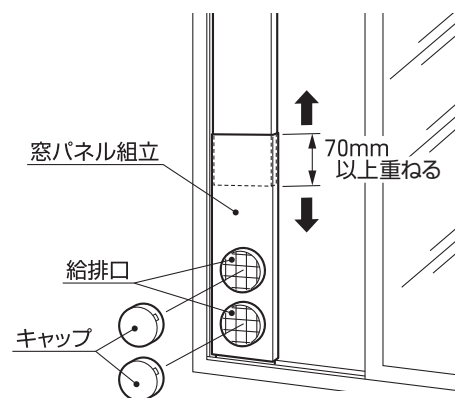


【完成図】



〈キャップの取り付け方〉

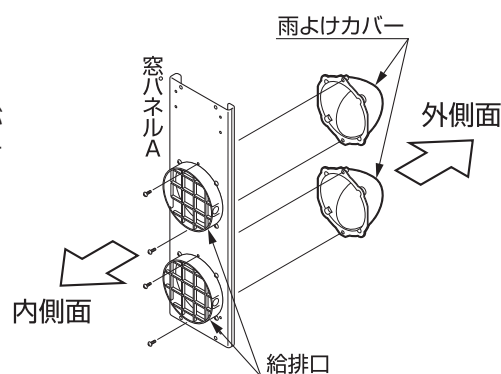
- 排気ダクト、給気ダクトを使用しない場合は、キャップを窓パネル組立の給排口の爪に取り付けてお使いください。
- キャップのはずしかた
キャップを回して、窓パネルの給排口の爪からはずします。



3 別売りオプション部品の取り付け

〈雨よけカバーの取り付け方〉

- 給排口を固定後に、雨よけカバーを窓パネルAの外側面に開口部が下を向くようにセットして、固定ねじ(長)2本(計4本)で固定してください。



運転のしかた

ディスプレイの運転ボタンについて

リモコンを使わずに、本体正面にあるディスプレイの「運転」ボタンで運転や停止をおこなうことができます。このとき自動運転となります。この機能は、室内温度を感知して、冷風、ドライ、温風モードに切り替わります。運転内容がお好みに合わないときは、リモコンで運転モードを切り替えてください。

自動運転

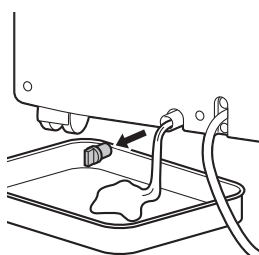
運転を開始したときの室温によって自動で「冷風運転」「ドライ運転」「温風運転」が選択される運転モードです。

お知らせ

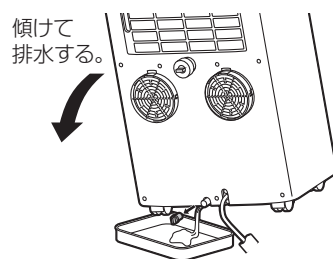
- 風量設定は自動風で固定されます。
- 自動運転中、運転の状態や温度設定がお好みに合わない時は、その他の運転モードでお好みに合った運転をおこなってください。
- 室温によってON/OFFの間欠運転となります。
- 自動運転でお好みのモードが選ばれない場合は、「運転モード切替」ボタンを押して、モードを変更してください。

排水時の注意

- 湿度が高い場所で運転をおこなうと、ドレン水がたまりやすくなり、満水表示ランプが点滅して停止することがあります。満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700~800mℓの水が出ます。ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。または運転前に市販のホース(内径約15mm)をつなげて連続排水してください。ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。



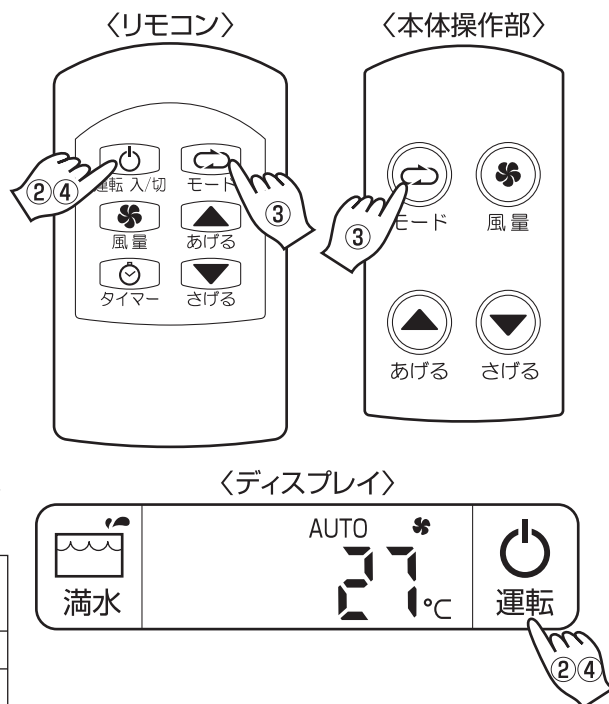
- 排水しても満水ランプが点滅して運転できない場合は、本体を後方へ傾けて排水してください。



- ① ルーバーを開ける。
- ② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。
- ③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押して「AUTO」(自動運転)に合わせます。

- 運転モード、風量設定、ディスプレイ色は、部屋の温度に応じて下の表のように自動的に設定されます。(ディスプレイ色及び現在室温の表示は変わりますが、その他の液晶表示は変わりません。)

運転時の部屋の温度(目安)	運転モード	風量設定	ディスプレイ色
25℃以上	冷風	自動風	青
18℃以上、25℃未満	ドライ	自動風	青
18℃未満	温風	自動風	赤



④ 停止方法

運転中に、リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンで運転を停止させることができます。必要に応じてルーバーを閉じてください。

冷風運転

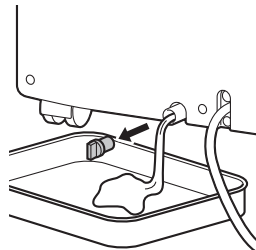
お知らせ

- お好みの温度に設定します。(最高設定温度32℃、最低設定温度16℃までです。)
- 1回押すごとに1℃変化します。設定温度と実際に出ている冷風の温度は異なります。
- 経済的な使い方として26℃～28℃に設定することをおすすめします。
- 部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷風運転をしません。但し室内ファンは連続運転をします。
- リモコンの「**運転**」ボタンにより再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。
- 冷風運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサーがON・OFFします。

排水時の注意

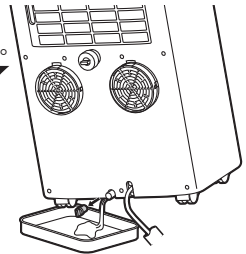
- 湿度が高い場所で運転をおこなうと、ドレン水がたまりやすくなり、満水表示ランプが点滅して停止することがあります。満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700～800mlの水が出ます。ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。

または運転前に市販のホース(内径約15mm)をつなげて連続排水してください。ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。



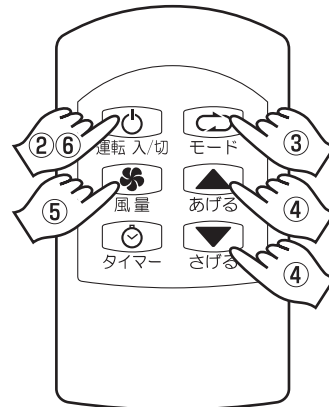
- 排水しても満水ランプが点滅して運転できない場合は、本体を後方へ傾けて排水してください。

傾けて排水する。



- ① ルーバーを開ける。
- ② リモコンまたはディスプレイの「**運転**」ボタンを一度押します。
- ③ リモコンまたは本体操作部の「**運転モード切替**」ボタンを押して、「**❄**」(冷風運転)に合わせます。

<リモコン>



<本体操作部>



- ディスプレイに運転モード、風量設定、現在室温が表示されます。
- ディスプレイが青色に点灯します。

- ④ リモコンまたは本体操作部の「**温度設定**」の「**あげる**」または、「**さげる**」ボタンを押します。

- ボタンを押すと数字が点滅して、設定温度を表示します。ボタンを押してから数秒間押さずにいると点灯に変わり現在室温を表示します。

<ディスプレイ>



- ⑤ リモコンまたは本体操作部の「**風量切替**」ボタンを押して風量を選びます。

- ボタンを押すたびに **AUTO ❄ |||❄ |||❄ ||❄**
 → [自動風] → [強風] → [弱風] → [微風] と表示が変わります。

- 風量設定が自動風の時、風量の切り替えは自動的におこないます。

- ⑥ 停止方法

運転中、にリモコンまたはディスプレイの「**運転**」ボタンで運転を停止させることができます。必要に応じてルーバーを閉じてください。

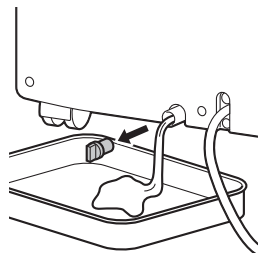
ドライ運転

お知らせ

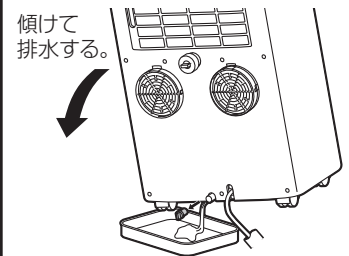
- 温度設定の変更はできません。
- 現在室温が25℃以下の時は、風量の変更はできません。(ただしボタンの受信音はします。)
- 現在室温が25℃以下の時は、室温に応じてコンプレッサーが ON・OFF します。
- お部屋を除湿する時は、次のうちいずれかをおこなってください。おこなわないと除湿ができません。
 - ・ 製品本体に排気ダクト、給気ダクトをつなげて、排気ダクトの先端を室外に出す。
 - ・ 製品本体に排気ダクト、給気ダクトをつなげて、窓に取り付けた窓パネルにつなげる。
 - ・ 製品本体に排水ホースをつなげて、連続排水する。


排水時の注意

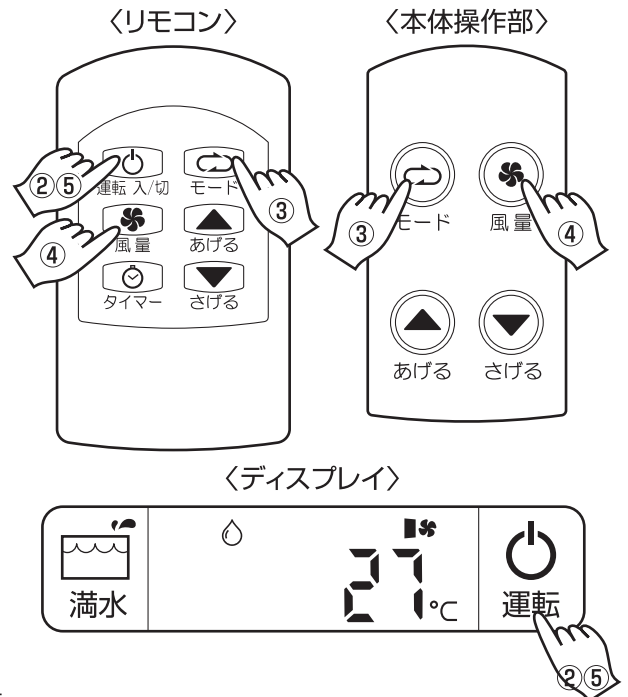
- 湿度が高い場所で運転をおこなうと、ドレン水がたまりやすくなり、満水表示ランプが点滅して停止することがあります。満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700~800mlの水が出ます。ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差ししてください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。または運転前に市販のホース(内径約15mm)をつなげて連続排水してください。ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。



- 排水しても満水ランプが点滅して運転できない場合は、本体を後方へ傾けて排水してください。



- ① ルーバーを開ける。
- ② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。
- ③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押して、「」(ドライ運転)に合わせます。
 - ディスプレイに運転モード、風量設定、現在室温が表示されます。
 - ディスプレイが青色に点灯します。
- ④ リモコンまたは本体操作部の「風量切替」ボタンを押して風量を選びます。



- 現在室温が25℃より高い時のみ選択可能となります。

- ボタンを押すたびに   

→ [強風] → [弱風] → [微風] → と表示が変わります。


⑤ 停止方法

運転中に、リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンで運転を停止させることができます。必要に応じてルーバーを閉じてください。

送風運転

お知らせ

●温度設定の変更はできません。

- ① ルーバーを開ける。
- ② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。
- ③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押して、「」(送風運転)に合わせます。

- ディスプレイに運転モード、風量設定、現在室温が表示されます。
- ディスプレイが青色に点灯します。

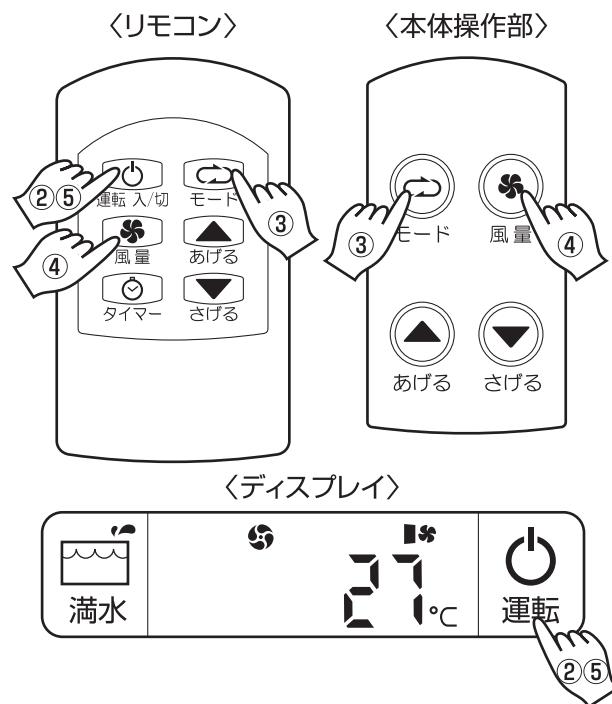
- ④ リモコンまたは本体操作部の「風量切替」ボタンを押して風量を選びます。

●ボタンを押すたびに

  
→ [強風] → [弱風] → [微風] と表示が変わります。

- ⑤ 停止方法

運転中に、リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンで運転を停止させることができます。必要に応じてルーバーを閉じてください。



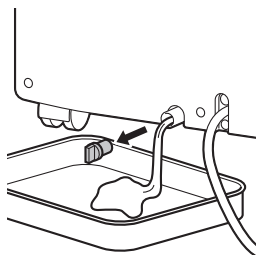
温風運転

お知らせ

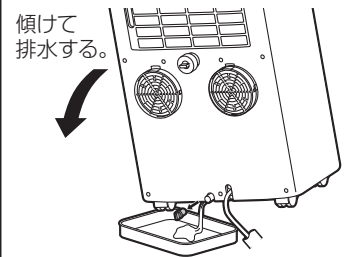
- お好みの温度に設定します。(最高設定温度25℃、最低設定温度16℃までです。)
- 1回押すごとに1℃変化します。設定温度と実際に出ている温風の温度は異なります。
- リモコンの「**運転**」ボタンにより再度温風運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。
- 温風運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサー及び室内ファンがON・OFFします。
- 風量設定が自動風の時、風量の切り替えは自動的におこないます。
- 冷えた風を出さないために、運転開始または再運転開始から最初の数秒～数分間は風が出ません。
- 十分に温まった風を出すために、運転開始後、風が出てから最初の数秒～数分間は風量切替がおこなえません。

排水時の注意

- 湿度が高い場所で運転をおこなうと、ドレン水がたまりやすくなり、満水表示ランプが点滅して停止することがあります。満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700～800mlの水が出ます。ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差ししてください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。または運転前に市販のホース(内径約15mm)をつなげて連続排水してください。ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。



- 排水しても満水ランプが点滅して運転できない場合は、本体を後方へ傾けて排水してください。



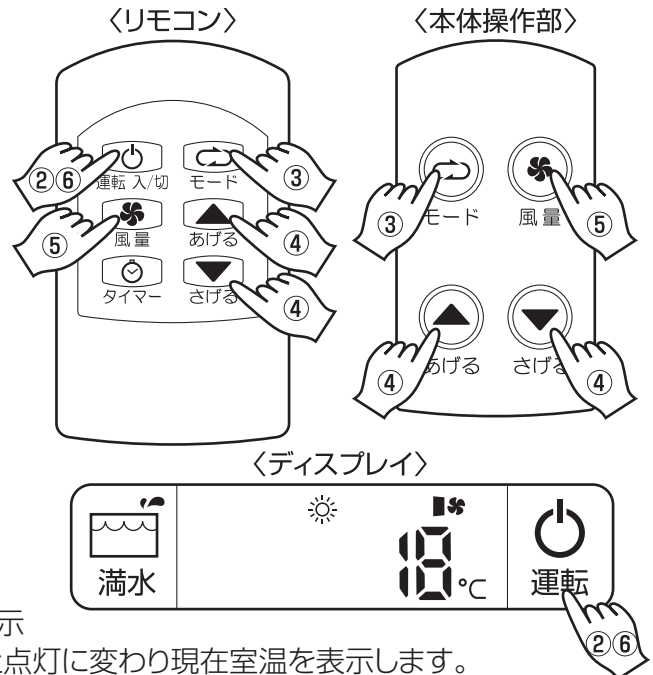
- ① ルーバーを開ける。
- ② リモコンまたはディスプレイの「**運転**」ボタンを一度押します。
- ③ リモコンまたは本体操作部の「**運転モード切替**」ボタンを押して、「☀」(温風運転)に合わせます。
 - ディスプレイに運転モード、風量設定、現在室温が表示されます。
 - ディスプレイが赤色に点灯します。
- ④ リモコンまたは本体操作部の「**温度設定**」の「**あげる**」または、「**さげる**」ボタンを押します。
 - ボタンを押すと数字が点滅して、設定温度を表示します。ボタンを押してから数秒間押さずにいると点灯に変わり現在室温を表示します。
- ⑤ リモコンまたは本体操作部の「**風量切替**」ボタンを押して風量を選びます。
 - ボタンを押すたびに

AUTO	☼	☼	☼	☼
------	---	---	---	---

 と表示が変わります。

 □→[自動風]→[強風]→[弱風]→[微風]□
- ⑥ 停止方法

運転中に、リモコンまたはディスプレイの「**運転**」ボタンで運転を停止させることができます。必要に応じてルーバーを閉じてください。



切タイマー運転

- 設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

お知らせ

- 「切タイマー」と「入タイマー」は同時にセットできません。
- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。
- 「切タイマー」は運転停止中では設定できませんので、運転中に「切タイマー」予約をしてください。

① 運転中に「タイマー」ボタンを押します。

② リモコンまたは本体操作部の「タイマー設定」の「あげる」または、「さげる」ボタンを押します。 設定中は「🕒」表示が点滅します。

- お好みのタイマーに設定します。(最小タイマー1時間、最大タイマー12時間までです。)

- 1回押すごとに1時間変化します。

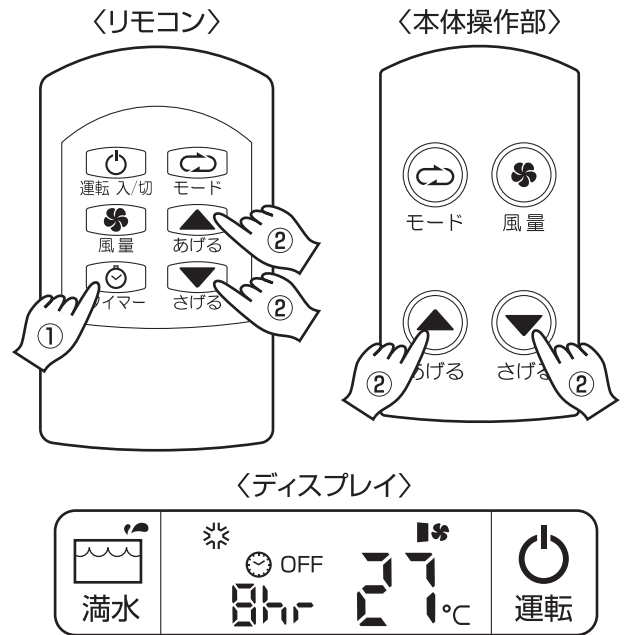
〔例〕右図は8時間後に運転を停止させる時の表示です。

- 「🕒」表示にすると、数秒後にタイマー表示が消えます。

- 「🕒」表示の点滅が点灯になると、タイマー運転を開始します。

- 取り消す場合は「タイマー」ボタンを押しタイマー設定を「🕒」にしてください。

もしくは、いったんリモコンまたは本体操作部の「運転」ボタンを押して運転を停止してください。ディスプレイの「🕒」表示が消灯します。



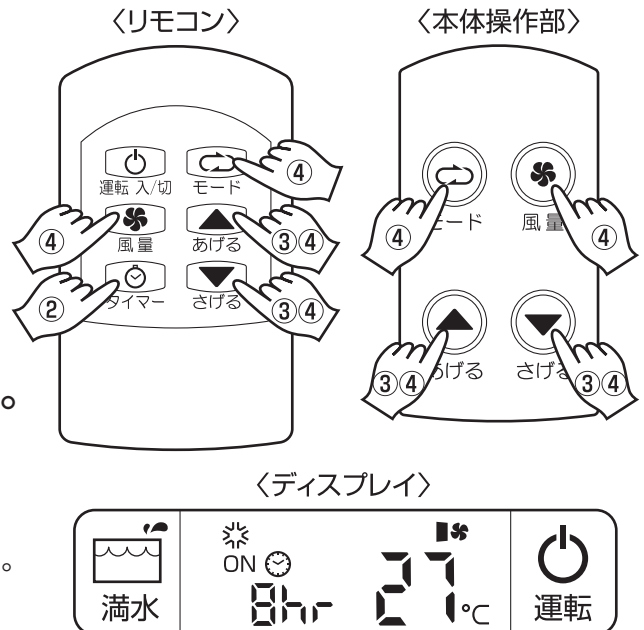
入タイマー運転

- 設定した時間が経過すると自動的に運転を開始します。





お知らせ

- 「入タイマー」は運転中では設定できませんので、運転を停止させてから、「入タイマー」予約をしてください。
- 「入タイマー」を設定したあとに、電源プラグを抜いたり、停電があると運転しません。




- ① ルーバーを開ける。
- ② 停止中に「タイマー」ボタンを押します。
- ③ リモコンまたは本体操作部の「タイマー設定」の「あげる」または、「さげる」ボタンを押します。
設定中は「🕒」表示が点滅します。
 - お好みのタイマーに設定します。(最小タイマー1時間、最大タイマー12時間までです。)
 - 1回押すごとに1時間変化します。
〔例〕右図は8時間後に運転を始める時の表示です。
 - 「8hr」表示にすると、数秒後にタイマー表示が消えます。
 - 「🕒」表示の点滅が点灯になると、タイマー運転を開始します。
 - 取り消す場合は「タイマー」ボタンを押しタイマー設定を「0hr」にしてください。
もしくは、リモコンまたは本体操作部の「運転」ボタンを押していったん運転後、再度「運転」ボタンで運転を停止させてください。
ディスプレイの「🕒」表示が消灯します。
- ④ 停止中に運転モード、風量、設定温度を設定します。
 - 設定した内容で入タイマー運転をおこないます。



日常のお手入れ

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●手入れ・掃除をするときは、必ず「運転」ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。 内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。 	 電源プラグを抜く
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。 	 禁止
	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れは、手袋をはめておこなう。 けがの原因になります。 	 指示

エアフィルターカバーの掃除

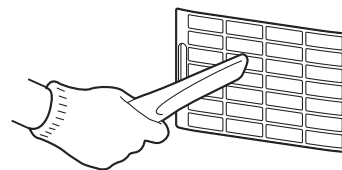
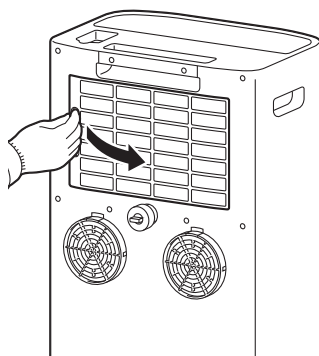
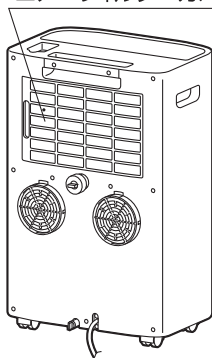
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●エアフィルターカバーをはずした状態で使用しない。 本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。 	 禁止
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててからおこなう。また引きずって移動しない。 畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんでは持ち上げて移動してください。 けがや床を傷つける原因になります。 	 禁止

お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●40℃以上のお湯で洗わないでください。フィルターが縮むことがあります。
------------	--

シーズン中は2週間に1回程度掃除してください。

- エアフィルターカバーにほこりが溜まると、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。次の要領で掃除してください。

エアフィルターカバー



掃除機で吸い取ります。

※活性炭フィルターの交換の目安は3ヵ月です。

本体のお手入れ

お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●40℃以上のお湯は使わないでください。高温のお湯を使うとプラスチックが変形することがあります。 ●プラスチックをいためますので、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。 ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
------------	--

- やわらかい布で、からぶきしてください。
- 特に汚れがひどい場合は、ぬるま湯でふきとってください。



知っておいていただきたいこと

使用の際は

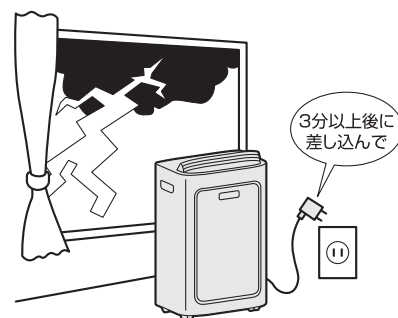
●本機は冷房・暖房機ではありません。

本機はセパレートエアコン等と構造が異なりますので、簡易的な冷暖房としてご使用ください。

また、同梱の窓パネルと排気ダクト、給気ダクトを使用せず、閉め切った部屋で運転しますと室温が上がります。

●再運転は3分以上待ってください。

落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一旦運転を停止して電源プラグを抜き、3分以上過ぎてからコンセントに差し込み再運転してください。



「冷風」「ドライ」運転中

●室温が16～35℃の範囲でご使用ください。

指定の温度範囲外でご使用になると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。

- ・使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。

「温風」運転中

●室温が12～25℃の範囲でご使用ください。

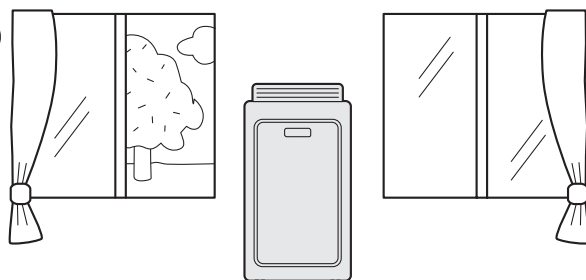
指定の温度範囲外でご使用になると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。

- ・使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。

経済的で快適にお使いいただくために

●排気処理を適正に。

附属品の窓パネルセットを使用していただけると、効果的にお使いいただけます。



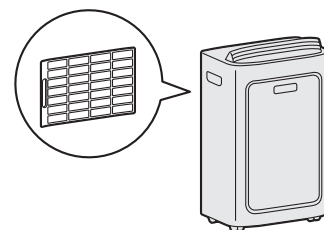
●エアフィルターカバーの掃除はこまめに。

エアフィルターカバーが目詰まりすると、風量が減り、効果を弱めます。

日常のお手入れ エアフィルターカバーの掃除

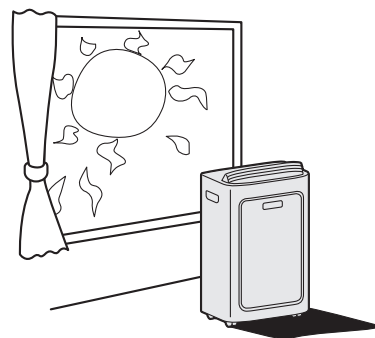
を参照して、掃除をしてください。

2週間に1回は掃除をしましょう。



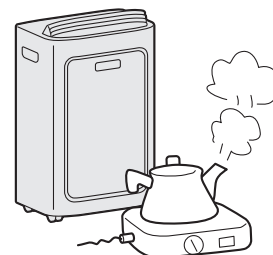
●直射日光を入れない・当てない(冷風・ドライ運転時)。

直射日光をカーテンやブラインドでさえぎりましょう。



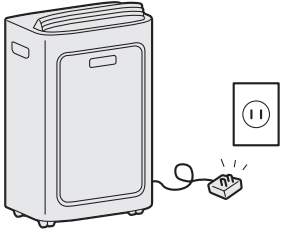
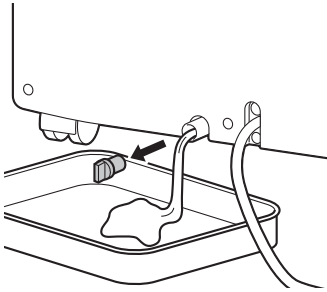
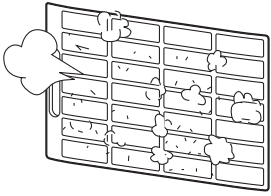
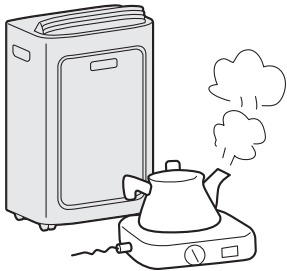
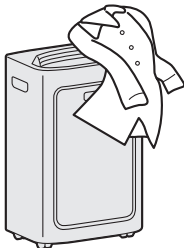
●熱の発生は少なく(冷風・ドライ運転時)。

室内には、できるだけ熱源になるものを置かないでください。



サービスを依頼する前に


故障かな?と思ったら 次のことをお調べください。

症状	確認箇所	処置方法
まったく運転しない	<p>停電ではありませんか。 ヒューズは切れていませんか。</p>	確認してください。
	<p>電源プラグがコンセント からはずれていませんか。 運転スイッチはON(入)に なっていますか。</p> 	電源プラグの差し込みを確認する。
	<p>排水ホースのホースが折れたり 曲ったりしていませんか。 本機中のタンクに水が溜って いませんか。</p> 	水を捨ててください。 (容器を用意して頂いて排水して ください)
冷えが悪い・暖まりが悪い	<p>エアフィルターカバーや、 熱交換器が汚れて いませんか。</p> 	エアフィルターカバーや 熱交換器を掃除する。 (日常のお手入れ エア フィルターカバーの掃除 を参照 して、掃除をしてください。)
	<p>お部屋の中に熱源がありませんか。 (冷風運転時、ドライ運転時)</p> 	熱源を取り除いてください。
	<p>吹出口や給気口・排気口がふさがって いませんか。 排気ダクトの排気口が本機の給気口 に向き合っていないか。 ダクトの給気口と排気口が向き合っ ていませんか。</p> 	正常な状態にする。
	<p>電源は交流100Vですか。</p>	コンセントを単独で使用されない と、電圧が低下して能力を発揮 しません。

●以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下記のような現象が出たときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐお買い求めの販売店にご連絡ください。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤って内部に異物や水を入れてしまった。
- 電源コードの過熱や、コードの被覆に破れがある。

これは故障ではありません

症状	理由
停止直後に再運転できない。	<p>運転を停止後3分間は、再運転をストップして機械を守り、ヒューズ、ブレーカー切れを防ぎます。 (マイコンに組込んである3分間保護回路が自動的に働きます)</p> 
音がする。	<p>運転中や停止直後に“シュー”という音がすることがあります。これはユニットの中の冷媒液が流れる音です。</p> <p>運転の開始または停止時に“ピンピン”と音がする場合がありますが、プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。</p>
運転音が大きい。	<p>製品を置く設置面が弱かったり、傾斜したりしていませんか。</p> <p>エアフィルターカバーが正しく取り付けられていますか。</p>
においがする。	<p>運転中に吹き出す風がおうことがあります。これは、ユニットに付いたタバコや化粧品などのにおいです。</p>
電源プラグが少し熱い	<p>使用中は少し熱を帯びます。異常ではありません。</p>
電源プラグが異常に熱い(さわれないほど)	<p>コンセントの差し込みが確実におこなわれていない時や、コンセントに電源プラグを差し込んでもガタつきがあると異常に過熱します。その時は工事業者に依頼してコンセントを交換してください。コンセントを交換しても異常に過熱している場合は販売店に修理依頼をしてください。</p>
満水表示ランプが赤色に点滅する	<p>高湿度条件で運転し、ドレン水が溜まり、処理できない。 製品背面の下側にある排水ドレン栓をはずし排水してください。 排水しても満水ランプが点滅して運転できない場合は、本体を後方へ傾けて排水してください。(15、16、17、19ページの排水時の注意参照) (容器を用意していただいて排水してください。)</p> <p>排水ホースを取り付けてください。 または排水ホースのホースが折れたり、曲がっていませんか。</p>

お願い

それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡のうえ修理をお申し付けください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・発熱・火災の原因になります。

定期点検

半年～1年に一度、定期点検に次の点検をおこなってください。
もしご不審な点がありましたら、すぐ買い求めの販売店にご連絡ください。



●確実にアースをおこなう。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
アース工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。



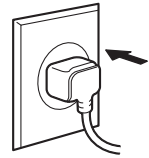
●市販のエアコン洗浄スプレーは使用しない。

感電や故障、製品内部の破損、排水経路の詰まりによる水漏れの原因になります。



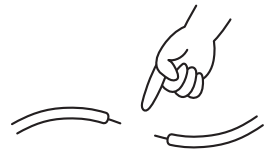
コンセント

電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
(電源プラグとコンセントの間に“ゆるみ”がないことを確認してください。)
電源プラグ、コンセントにほこりや汚れが付着していませんか。
1箇月に2～3回、電源プラグを抜いて掃除してください。



アース線

アース線がはずれていたり、途中で切れていたりしませんか。
アースを正しくおこなってください。



点検整備

ご使用状態や周囲の環境によっても変わりますが、本機を数シーズン(2～3年)ご使用になりますと、内部が汚れて能力が低下することがありますので、通常のお手入れとは別に、点検整備をおすすめします。
(本機を長持ちさせ、安心してご使用いただけます)

- 点検整備には専門技術を必要とします。
点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。



保管のしかた

- ドレン水は必ず抜いておいてください。
- 容器などで水を受ける準備をしたあと、排水ドレン栓、ゴム栓をはずして下部排水口、排水ホース差し込み口から内部の水を抜いてください。
- 晴れた日に半日ほど「送風」運転をして、機器の内部を乾燥させてください。
- 電源プラグを、コンセントから抜いておいてください。
- 掃除をして汚れを落としてください。
- エアフィルターカバー類を掃除して、取り付けおいてください。
- 排気ダクト、給気ダクトを取りはずし、本体の排気口、給気口をビニールカバーなどでふさぎます。
- リモコンから乾電池を取り出す。
- 湿気の少ない、風通しのよい場所に保管します。

仕様

項目		型式	TAD-22KW
電	源		単相 100V 50 / 60Hz
冷	風 能 力	kW	2.0 / 2.2
温	風 能 力	kW	1.7 / 1.9
冷	風 消 費 電 力	W	590 / 690
温	風 消 費 電 力	W	600 / 730
コ	ー ド 長 さ	m	2.5
除	湿 能 力	L/日	36 / 42
外 形 寸 法	幅	mm	440
	奥 行		320
	高 さ		690
製	品 質 量	kg	26
冷	媒		R-410A

- ご注意** (1)「/」で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hz の値です。
 (2)冷風及び除湿特性は、空気条件30℃、相対湿度70%強運転の時の値です。
 (3)温風特性は、空気条件20℃、相対湿度60%強運転の時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦表示してあります。

【設計上の標準使用期間】 9年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●標準的な使用条件 JIS C 9921-3 によります。

環 境 条 件	電圧	単相100V	負 荷 条 件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	周波数	50/60Hz		部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋
	冷風室内温度	27℃(乾球温度)			
	冷風室内湿度	47%(湿球温度19℃)	想 定 時 間	1年間の 使用日数	東京モデル 冷風6月2日から9月21日までの112日間 温風10月28日から4月14日までの169日間
	温風室内温度	20℃(乾球温度)		1日の使用時間	冷風:9時間/日 温風:7時間/日
	温風室内湿度	59%(湿球温度15℃)		1年間の 使用時間	冷風:1008時間/年 温風:1183時間/年
設置条件	標準設置				

- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、9年より短い期間で経年劣化による火災・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

この商品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●保証期間はご購入の日から1年間です。

(ただし、冷凍サイクル部分は3年間です。)

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことは、ご購入の販売店にご相談ください。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の 保有期間について

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後9年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて



警告

●改造は絶対にしない。また修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。

火災や感電やけがの原因になりますので、ご購入の販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。



分解禁止

●修理は、ご購入の販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。

ご自分で修理をされたときに不備があると、火災や感電の原因になります。



実施

使用中に異常が生じたときは、直ちに運転を停止して電源プラグを抜き、ご購入の販売店に修理を依頼してください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、右のことをお知らせください。

型 式…TAD-22KW
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・電話番号
ご購入年月日

アフターサービスで
お困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、ご購入の販売店か29ページの「お客様相談窓口」にご相談ください。

転居されるときは

ご転居により、ご購入の販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはお買い求めの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記のお客様相談窓口までご連絡ください。

株式会社 トヨタ トミ お客様相談窓口



0120-104-154

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220

ホームページ <http://www.toyotomi.jp/>

トヨタトミ スポット冷暖エアコン 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。

お買い求めの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型式 TAD-22KW 保証期間 お買い求め日より 本体 1年間
冷凍サイクル 3年間

※お買い求め日 年 月 日

※お客様 姓 名

〒 □□□□-□□□□

ご住所

〔電 話 () 〕

※販売店名・住所・電話番号

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ずご確認し、購入証明書(領収書)を保管してください。

【 無 料 修 理 規 定 】

- お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または当社が無料修理致します。
- 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
- ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、当社までお問い合わせください。
- 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
 - (イ) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い求め後の器具の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。
 - (ト) 部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、当社の **お客様相談窓口** までお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。
- お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

●冷凍サイクルとは

圧縮機、凝縮器、毛細管、蒸発器および配管で構成された冷媒循環回路のことです。

修理メモ

株式会社 トヨタトミ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町 5 番 17 号

お客様相談窓口



0120-104-154

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時

※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220

ホームページ <http://www.toyotomi.jp/>